

温泉郷マスケットキャラクター決定

田沢湖高原旅館組合

田沢湖高原温泉郷のマスケットキャラクターがこの度決定し、9月30日、その発表会が行われました。キャラクターコンテストには全国から132点もの作品が応募され、公開投票などを経て最終審査で岩倉隆行さん（鹿児島県）の作品「オモテナシ3兄弟」に決定しました。ステージ上のパネルでお披露目されたキャラクターを前に堀内勝彦組合長が「応募してくれた皆さまと関係者のおかげですばらしいキャラクターを発表できた。グッズの展開など地域の観光、元気の象徴としてPRして行きたい」と挨拶しました。



あいさつをする堀内組合長と、地域の自然などをモチーフにしたマスケットキャラクター（左から）「フカインダー、スクインダー、イヤスダー」の3兄弟

公民館大会・生涯学習推進研究大会 日ごろの活動を発表

10月5日、市民会館で「第51回秋田県仙北地域公民館大会」「第34回大仙仙北地区生涯学習推進研究大会」が併せて行われ、大仙仙北地域の各公民館から約300人が参加しました。大会では、優良団体への表彰が行われたほか、西明寺診療所市川先生の基調講演や、各地域の取り組みについての事例発表などが行われました。



事例発表を行う角館公民館大学陶芸学科 境田幹正さん

生保内地区敬老を祝う会 7年ぶりに開催 長寿を祝う

9月25日、生保内地区敬老を祝う会が生保内市民体育館で開催されました。

この会は、生保内地域運営体をはじめ、生保内地区内の各種団体や企業が協力し、同地域では7年ぶりの開催となり、宮城県女川町から避難されている方々を含む、75歳以上の263人が参加しました。

式典では今年で満80歳（傘寿）を迎えられ、会場にいられた一人ひとりに記念写真が手渡されました。また、祝宴では、だしの園児たちの歌や遊戯のほか、さまざまな団体から芸能披露があり、参加された方々は、披露された歌や踊りを楽しみました。



から、久しぶりに会う仲間と話の花を咲かせていました。

第13回田沢湖ツーデーマーチ 湖畔の景色を満喫

湖畔の景色を楽しみながらウォーキングし、心地よい汗を流そうと、10月1日、2日の両日、田沢湖ツーデーマーチが行われました。市内外から333人が参加し、5キロから40キロのコースを参加者はそれぞれのペースでウォーキングしました。



仙北市高齢者輝き表彰 明るい地域づくりに貢献

市民の模範となり、明るい社会、地域づくりに貢献した高齢者の方に贈られる、仙北市高齢者輝き表彰が行われました。この表彰には各地域から9人の方が受賞された。



9月11日 生保内小学校で受賞された浦山久二さんと西野正子さん



9月17日 中川小学校で受賞された照井テルさん



9月23日 神代小学校で受賞された津島春吉さん

が受賞され、地域の小学校の学習発表会の中で表彰式を行い、皆さんに祝福されました。9月に表彰式が行われたのは4人の方々です。

第31回魁星旗争奪少年サッカー大会 FC角館セレジエスタ 健闘 ベスト4!

9月23日から25日の3日間、能代市で魁星旗争奪少年サッカー大会が行われ、FC角館セレジエスタがベスト4の成績を収めました。準決勝でエスポルチ秋田（秋田市、今大会優勝）に敗れましたが、予選から接戦を制し、全県59チームが参加する中、ベスト4まで勝ち残りました。



角館南高 地域との交流会 郷土芸能など楽しむ

9月29日、角館南高等学校（菅原明雅校長）で地域との交流会が行われました。

この交流会は、町内の一人暮らしの高齢者や寿楽荘の入所者を招待し、生徒による演劇や郷土芸能などを楽しんでもらおうと行われたもので、今年で12回目。今回招待された81人の隣には生徒がそれぞれ座り、歌に合わせていっしょに手拍子するなど、楽しみながら交流を深めました。



台北市・北投温泉と温泉提携協定 北投石を縁に観光・文化で交流

仙北市の玉川温泉と台湾・台北市の北投温泉はこの度、台北市で、温泉提携協定を締結しました。世界でも両温泉でしか産出されないといわれる「北投石」が縁となり、今後は温泉を軸に観光や文化の交流を深めます。当初は3月25日に開催される予定でしたが、東日本大震災のため延期。協定書には佐竹秋田県知事、門脇仙北市長、玉川温泉を経営する株式会社湯瀬ホテルの関社長がそれぞれ調印しました。震災後外国人観光客が減少する中、この提携が観光客増加の架け橋になることを期待しています。

